

【新任委員からひと言ずつ】

金杉委員（総務）：渡米して一年半、高等部から幼稚部まで3人の子供がお世話になっているものの、日本語学校のことがよくわかっていないまま管理運営委員会に入ることになり、右往左往しています。雑誌・書籍の編集の仕事をしております手前、このような状況でもネット環境があれば特段変化のない生活ができておりますが、どこにも行くことのできない子供たちのストレスをどう解消してやれるかが目下の悩みどころです。不慣れで恐縮ですが、先輩委員のご指導を仰ぎながらできることを精一杯頑張ります。コロナ禍中、学校で皆様と直接お会いする機会がなくて残念に思っています。



邊田委員（総務）：管理運営委員会で総務部のお仕事をさせていただくことになりました邊田（へんた）です。小2と幼稚部に娘が在籍しています。日頃はダレス空港でターミナル間を結ぶ地下の電車（実は日本製のシステムなんです）を運行する会社で仕事をしております。今年度はコロナ禍により皆様の日常生活はもちろんのこと、生徒を取り巻く教育環境もとても厳しいものとなっておりますが、共に乗り切りましょう！日本語学校の発展のため、精一杯お手伝いさせていただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。



大塚委員（財務）：さくら幼稚園を経て、一昨年に娘が幼稚部に入園し、今年は早、2年生。そして息子も今年から幼稚部でお世話になります。家での会話は妻とオペアは英語なのですが、私は子供たちと日本語で接しています。へこたれることも多々ありますが、言語習得は努力の積み重ねで、長い道のりになると思って、頑張っています。今年から管理運営委員会に参加させていただき、貴重な日本語環境を形成している学校に少しでも恩返しできればと思っています。とは言え、引き続き教えてもらうことばかりの毎日ですが、よろしくお願いします！



加藤委員（教育人事）：本年より教育人事部のお手伝いをさせていただくことになりました。昨年夏にこちらに赴任し、本校には小学校3年生の娘がお世話になっております。ワシントンDCの事務所に勤務し、米国の電力業界の調査をしておりますが、これまで海外赴任とは無縁で、英語にも積極的に向かい合って来なかったため、親子そろって習得に苦労しております。今年はコロナの影響で、通常とは大きくかけ離れた学校運営を余儀なくされていますが、本校の運営を見直せるチャンスと前向きに捉え、皆様にとってより一層良い学校にしていけるよう取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



寺林委員（教育人事）：この春より教育人事部に参加させていただくことになりました。思いがけず3月に急転直下で対面授業ができない状況となり、管理運営委員会での活動はここまでほぼオンライン上のみですが、なかなか先を見通すことが難しい局面でも、学校運営を維持していくために縁の下で力を発揮している人々が多くいることを知りました。また非常事態宣言やオンライン授業への切り替えなど矢継ぎ早に変化する新たな生活様式にも粛々と適応性を発揮し、オンラインで習い事までこなす子供達にも、ある種のたくましさを感じました。それぞれの人が安心して通学再開できる日を見据えながら、学校の運営に少しでも協力させていただければと思います。



小寺委員（広報）：中2と小6の娘たちと共に、通算7年間お世話になっている日本語学校に以前はITサポートと



して、今回は広報部員として恩返しさせていただくことになりました。週日はFRB（連邦準備制度理事会）でデータ分析の仕事をしています。不便な英語と違い、管理運営委員会の活動なら日本語でそつなくこなせると思っていましたが、広報業務は細部を重視しつつ、創造性も問われるやりがいのある仕事で、まだまだ勉強の毎日です。コロナ禍の厳しい環境ではありますが、より良い学校作りを目指して、他の委員と協力してフル回転で頑張っていきます。よろしくお願いします。

バンダイク委員（学年代表）：長女が今年3月に高等部を卒業して、高1、中2に長男と次男がおります。子供達が



日本語で勉強する価値を理解して、「やって良かった」と思う時はそれぞれ違いました。日本語学校というコミュニティで教職員、級友、保護者の皆様との出会いに恵まれたからこそ、これまで続けることができたのだと心から感謝しております。多くの皆様のお声を管理運営委員会へ伝えられるよう、ご助言、ご指導を受けながら任期を務めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。

現学年代表の任期延長

現任の学年代表3名（低学年：大根、中学年：森山、高学年：バンダイク）は、当初10月までだった任期を、来年春の特別年次総会まで延長することになりました。従って、次期学年代表の募集（応募がなかった場合は、抽選になります）は、来年2月頃に行う予定です。

聖心SR校との校舎借用契約締結（事務局・財務部）

7月10日に聖心SR校と新たな校舎借用契約を締結しました。毎年の必要教室数にて借料を決定する5年契約で、放課後クラブ活動などのために5つの教室を「無料」にて使用できる内容となっています。また、このコロナ禍にあつて、対面授業ができない期間の借用料を、条件付きにて大幅に免除していただくことにも同意していただきました。対面授業に戻ることができる日が待ち望まれます。

全校アンケートおよび特別総会 Q&A

2月に実施した全校アンケートおよび5月の特別総会で寄せられたご意見、ご質問に対し、管理運営委員会からの回答をお知らせします。アンケート結果並びに特別総会の資料・議事録は本校ウェブサイトの保護者ページ（<http://www.wjls.org/parents/>）に掲載されており、よくある質問のコーナーも同ページに設けました。



Q：小学部の国語科コース別はなぜ廃止になったのですか？

A：日本語学校に通う生徒のニーズが多様化したことに対応するために2015年度に導入された国語科コース別は、高学年への進級率が上がる、生徒の授業参加度が高まるなど、一定の成果があったものの、当初掲げていた「小学部卒業時までに日本語力の格差をなくす」という目標は達成されず、逆に日本語力の格差をさらに広げる結果になっているとの報告を多くの教員から受け、管理運営委員会にて何度も協議した結果、2019年度をもって終了することになりました。日本語力の格差縮小を目指して、今年度から「共働学習」という学び合いや家庭学習に重きを置いた新しい教育方法を実践しています。

みんなでささえる WJLS（管理運営委員会副委員長、大江耕太郎）



管理運営委員会副委員長の大江と申します。現在、日本大使館で勤務しており、昨年10月より運営委員会の一員としてお世話になっています。日本では、文部科学省や教育委員会で勤務をしていた関係で、様々な地域で多くの学校を視察する機会に恵まれました。地域や学校種によって異なる様々な学校を見てきましたが、ワシントン日本語学校はこうした日本の学校のどれにも当てはまらない特別な学校であると感じています。当然、日本の公立学校・私立学校と外国にある補習授業校は異なりますが、私が一番驚いたのは、保護者が協力し合いながら進める学校の運営形態です。通常、日本の公立学校の場合、教育委員会に多くの権限が集中しています。もちろん、その学校独自の問題は校長先生を中心として学校が決めることもありますが、例えば、教員の人事であったり、学校の予算であったり、施設・設備の管理の多くは教育委員会が握っています。言い方は適切ではないかもしれませんが、何かあったとき、学校は教育委員会を頼ることができます。

では、ワシントン日本語学校の場合はどうでしょう？日本の学習指導要領に沿って授業が行われるというルールが適用されていますが、教員の人事、学校の予算や施設・設備の管理、学校行事等々、基本的に全ての事柄は保護者の代表である管理運営委員会が決めることになっています。もちろん、実際の教育そのものは、教育のプロとして長年経験を積まれてきた校長先生、教頭先生に中心として教員の皆さんに進めてもらっているほか、事務局員にも種々の業務を担っていただいています。その方針を決めるのは保護者の代表です。

ところで、皆さんは日本で導入が進められている「コミュニティ・スクール」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？コミュニティ・スクール（正式には学校運営協議会制度と言います）とは、保護者や地域が知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させる仕組みで、2004年の法律改正によって日本に制度が導入されました。この仕組みを取り入れるかどうかは、学校毎に決められますが、10年前には導入率が3%程度だったにもかかわらず、近年では2割以上の公立小中学校が導入しています。これによって、保護者や地域住民が受け身ではなく、積極的に学校運営に参加し、関係者が協働して学校課題の解決に当たることができるというメリットが挙げられています。モンスターペアレンツが減った、というような報告もあるようです。



ところで、皆さんは日本で導入が進められている「コミュニティ・スクール」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？コミュニティ・スクール（正式には学校運営協議会制度と言います）とは、保護者や地域が知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させる仕組みで、2004年の法律改正によって日本に制度が導入されました。この仕組みを取り入れるかどうかは、学校毎に決められますが、10年前には導入率が3%程度だったにもかかわらず、近年では2割以上の公立小中学校が導入しています。これによって、保護者や地域住民が受け身ではなく、積極的に学校運営に参加し、関係者が協働して学校課題の解決に当たることができるというメリットが挙げられています。モンスターペアレンツが減った、というような報告もあるようです。

さて、ワシントン日本語学校は、コミュニティ・スクールのように、学校に意見を言うだけに留まらず、保護者代表に権限と責任がある点で、保護者の関わり方は格段に深いものとなっています。実際に、新型コロナウイルスの感染拡大後の運営方針なども、幾度にも渡る管理運営委員会の議論によって決められてきました。まさに、保護者の関わり方としては、究極の形態です。各種の当番も含めて、ワシントン日本語学校は、保護者の皆様の協力がなければ、運営が成り立ちません。教育委員会のような組織に頼ることができない代わりに、保護者みんなが意見を出し、役割を担うことで成り立っている「保護者立学校」といっても過言ではありません。

アメリカの新型コロナウイルス感染拡大は中々収束が見通せませんが、こうした困難な時期でも、ワシントン日本語学校の持ち味である、「みんなでささえる」をモットーに、保護者、教員、事務局が力を合わせて、この試練を乗り越えていけることを信じています。引き続き、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

授業はマジック？(中 3A 担任、ドーシー愛順)

「授業中、目の前から生徒が突然消える。」これは、映画の中のシーンでもマジックでもなく現実に起きた出来事。生徒が消えている時間が長くなればさすがに慌てます。無事に戻ってきたときには胸をなでおろし、あたかも迷子になった我が子に再会したような気持ちで授業を進めます。



遠隔、オンライン、リモート、バーチャルといろいろな呼び名はありますが、インターネットを使い、リアルタイムで教師と生徒が画面越しに顔を合わせ、対話をしながら進める双方向授業を、日本語学校でも初めて体験しました。未知の領域に足を踏み入れることに不安を感じ、冒頭のシーンに遭遇すると不安が混乱に変わりました。教室での対面授業では起こり得ないことが、コンピューター画面を通して行う授業では起こり得ます。機械が人と人の中継をするのですから、どんな理由であれ機械の機嫌を損ねると教師の意志に関係なく授業はストップしてしまいます。このよ

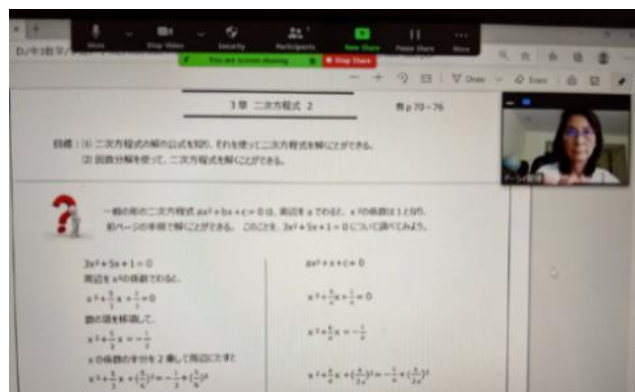
うな場面に遭遇しても、生徒は常に辛抱強く待ち、逆に救いの手を差し伸べてくれました。生徒たちの豊富なコンピューター知識には脱帽しました。オンライン授業は、これまで知らなかった生徒の一面を知る機会をプレゼントしてくれました。

オンライン授業を通して学んだことは他にもたくさんあります。授業をする教師も受ける生徒も、画面の前では一人だということです。だからこそ、私たちは生徒の姿勢や表情を瞬時に読み取り、温かい声をかけ、時には冗談を交えることも忘れてはいけません。また、画面では生徒の手元が見えません。参加していることを確かめるために頻繁に声をかけ、一方通行にならない気配りが必要になります。オンライン授業中に生徒が画面から消えて数分戻って来ないことがありました。後で理由を聞くと、問題を解くのに一生懸命でインターネットが切れていることに気づかなかったとのこと。「な～んだ。そうだったんだ!」と、笑い飛ばしましたが、これは、生徒を信じて待つことの大切さを学べた一例です。

長時間同じ姿勢で座っていると、先生の声が子守歌になり自然と眠気を誘います。だからこそ、リズム感のある授業を心がけ、生徒の関心を持続させる工夫が大切になります。例えば、自分が作った教材プリントのタイプミス探しをさせ、それがボーナス点として加算されるとなると、画面を見る生徒の表情が一瞬にして変わります。全員が参加できるゲームを使って問題に挑戦させれば授業は活気づき、おまけに笑顔がくっついてきます。全員起立して体操すれば、緩んでいた身体がシャンとし眠気が吹き飛びます。

オンライン授業に対面授業と同じ価値を求めることはできません。ですが、対面に戻った時にそれまでの成果を活用できるよう、今できることにしっかり取り組むことが大切だと信じています。9週間に渡るオンライン授業を通して、どんなハプニングが起きても平常心を保つことを学びました。そして生徒からの反応に手ごたえを感じることができた時は、教師として満足感を覚えました。オンライン授業に対する学校スタッフや保護者の皆さまのご支援を心から感謝しています。

今やこの授業形態が映画の中のシーンでも、マジックでもない正真正銘の日常生活の一コマになりました。8月からのオンライン授業では更なる挑戦が待っていますが、これまでの経験を生かし、生徒の頑張りと自分の可能性を信じて臨みたいと思っています。



ニューヨークで年に一度の日本式の人間ドックを受診しませんか？

人間ドックなら



J・MEDICAL
ジャパニーズメディカルケア

＼リニューアルした最新医療機関でご受診頂けます！／



当院で保険請求、立替不要



当院では人間ドックで米国医療保険をご利用頂けます。保険申請は当院が行い、窓口での建て替えは不要です。

キッズスペース完備



キッズスペースを設置しておりますので、ご夫婦そろってご受診をいただく際、お子様をお連れしてお越し頂くことも可能です。

お食事券のプレゼント



WOKUNI
JAPANESE うどん CUISINE

クリニックに近い提携レストランなどのお食事券（\$20相当）をご提供致しております。

受付から診察まで日本語対応



受付から診察まで日本語対応。日本語医師をはじめ、看護師、受付15名以上が日本語対応。

平日毎日・土曜も診察

月-土曜日

月	火	水	木	金	土
○	○	○	○	○	○

平日月曜日から金曜日はもちろん。土曜日も診察。健康診断も土曜日にご予約頂けます。

バリウム&超音波院内完備



当院は2018年2月28日にリニューアルオープン。マンハッタン院は最大規模の日系総合医療医療機関です。

各種予防接種実施中。インフルエンザやはし各種予防接種実施中。
インフルエンザやはしか（MMR）などの予防接種が同日受診可能です。



コース内容など詳しい情報はWebwww.jmedical.com又はお電話でお問い合わせください。



J・MEDICAL
ジャパニーズメディカルケア
www.jmedical.com - Japanese Medical Care PLLC -

一般診療内科 家庭科 アレルギー科 放射線科 人間ドック
栄養カウンセリング 理学療法 心理カウンセリング 東洋医学・針

土曜日も診察&人間ドック

24時間緊急電話対応

豊富な総合診療医&専門医

マンハッタン本院

315 Madison Ave, 17th Fl, New York, NY 10017

地下鉄4, 5, 6, 7, S 番線、メトロノース鉄道
グランドセントラル駅から徒歩3分

電話 212-365-5066



ウェストチェスター院

3010 Westchester Av, Ste 206 Purchase, NY 10577

メトロノースハリソン & ライ駅から車で15分
Purchase Professional Park 内 / 大駐車場完備

電話 914-305-8630



一 国丸ごとのマーケット（2016 年度卒業生、大隅美音）

大きな声では言えない話をする。補習校に通っているたいの生徒なら、私の言おうとしていることは察しがつくだろう。それは、生徒は補習校をバカにしているということだ。もしかしたら今の在校生は私の学年と違って皆真面目で勉強熱心かもしれないが、そうでなければ是非読み進めてもらいたい。



結構盛り上がった運動会の応援団

私が通っていた頃は、補習校に真剣に取り組むのは、気恥ずかしいことだと思われていた。これは補習校に限らず、現地校でも人生全般に対してもそうだが、中学・高校時代には「必死で努力しなくてもなぜかデキる」方がカッコよくみられる傾向がある。補習校での成績は現地校ほど将来に影響しないせいか、テストの点数さえ気にされていなかった。大人が一生懸命計画した運動会やイベントも、生徒がノリノリでやるのはダサいと思われていた。禁止されている英語を話すことも、ちょっと反抗的でカッコいいと捉えられていた。

今振り返れば、補習校という貴重な機会を無駄遣いすることこそが一番カッコ悪いことだった。日本特有の文化を毎週末気軽に味わえたこと、周りを気にせず日本語をいっぱい話して練習できたこと、そして文化的アイデンティティを共有する友達を作れたこと--これらは全部補習校ならではのかけがえのない機会だった。補習校で日本語の基礎を学んだおかげで、仕事のマーケットと会話できる相手が一国丸ごと増えた。

私はアメリカで生まれ育ち、補習校が近くにある環境で暮らしていたにも関わらず、中学 2 年まで補習校に通っていなかった。普通に幼稚園から補習校に入ると、それだけで日本語はペラペラになると安心してしまい、逆に小学 3 年生くらいで漢字についていけずに脱落する、と思い込んでいた母とずっとマンツーマンで日本語を勉強していた。毎月日本から進研ゼミのチャレンジを送ってもらい、大使館でもらってきた日本の教科書も使っていた。小 3 で母が補習校に入れようとした時、私は絶対嫌だと言い張った。きっとみんな幼稚園からの友達と仲良くしていて、溶け込めないと思ったのだ。それが一変したきっかけは、中 2 の夏に O-en キャンプのジュニアカウンセラーを務めたことだった。他のカウンセラーはみんな補習校に通っていて、逆に「なんで通ってないの?」と不思議がられた。キャンプで友達になった仲間が、補習校に来たらこれからも会えるのに、と誘ってくれたおかげで、夏休み明けから通うことになった。ちょうどティーンエイジャーになり、母とは衝突することが多くなっていたので、良いタイミングだったかもしれない。

さほど熱心な生徒ではなかったが、補習校は私にとってたくさんの思い出が詰まった場所になった。補習校で初恋をして、家に遊びに行くほど慕える先生にも出会えて、兄弟みたいに仲良くなった友達にも恵まれた。

私は現地校の中学で第三言語として中国語を学び始め、大学での留学先は中国にしようと思っていた。ニューヨーク州のハミルトン大学入学と同時に、外国語学部で日本語のチューターとしてバイトを始めた私は、2 年目の終わりに、日本語学科の生徒の発表会に招かれた。みんな日本語がたまらなく大好きで毎日熱心に勉強している人たちだが、スピーチとなると四苦八苦。外国語として学んでいる自分の中国語もきっとこんな感じなんだろうと思った。語学は最低 10 年は費やしないと仕事で使えるようにはならないだろう。補習校はその土台を私にくれた。だったら、中国語をネイティブの中学生レベルにするより、日本語をネイティブの大人レベルにする方がいいと思い、留学先を日本に変えた。

ハミルトン大学は小さい大学なので、日本への留学プログラムは学外で探し、バーモント州のミドルベリー大学経由で 3 年次の春学期に ICU（国際基督教大学）に留学することになった。留学期間に先がけ、コロナ感染が日本で騒がれ始めた今年の 2 月中旬に奈良県にある母の実家に到着した。3 月半ばに東京に行く予定だったが、その直前にコ

コロナ禍でオンライン授業になった。当初はゴールデンウィーク明けまでオンライン授業という予定だったので、その後東京でのキャンパスライフを経験するのを楽しみにしていたが、結局留学期間終了までオンライン授業になったので、時差をやりくりすることにして早めにアメリカに帰ってきた。

初めてのオンライン授業は戸惑うこともあったが、少人数クラスだったため、ディスカッションで発言する機会も多く、楽しかった。この経験で、日本語で文章を書く力が伸び、苦手だった敬語も自信を持って使えるようになった。東京で大学に通いながらインターンをするはずだったヴィーガン団体のウェブサイトにも夏休みの間も月に数本日本語で記事を書いて発信している。

日本語の勉強は補習校を卒業したら終わりにするのでは使えるレベルにならない。いろいろな場面で使いこなすチャンスをつかんで、幼い頃から身に付けた日本語の力を維持、向上させたいと思っている。



奈良で桜を満喫しながら ICU に留学

短歌募集中



TutorZest が、「コロナウィルス」をテーマにした短歌コンテストを開催しています。[「コロナウィルス」 短歌コンテスト \(https://tutorzest.com/2594-2/\)](https://tutorzest.com/2594-2/) の要領に従って、所定のフォームでお申込みください。入賞者にはギフトカードが贈呈され、入賞作品はみらい通信にも掲載される予定です。ご質問は、info@tutorzest.com もしくは (703) 927-6277 までお願いいたします。

【予告】年次総会は 10 月 18 日（日）です

2020 年度の特別総会が 10 月 18 日（日）に開催されます。今回もオンラインで行う予定ですが、詳細が決まり次第、保護者の皆様へご連絡いたします。5 月の特別総会時のコロナ禍予測とは違った展開になっているため、再度 2020 年度予算の審議が行われます。総会は皆様のご意見やご提案をいただく貴重な機会です。ぜひご参加くださいますようお願いいたします。総会についてのご質問は uneiiinkai@wjls.org までお願いいたします。

委員長からの報告

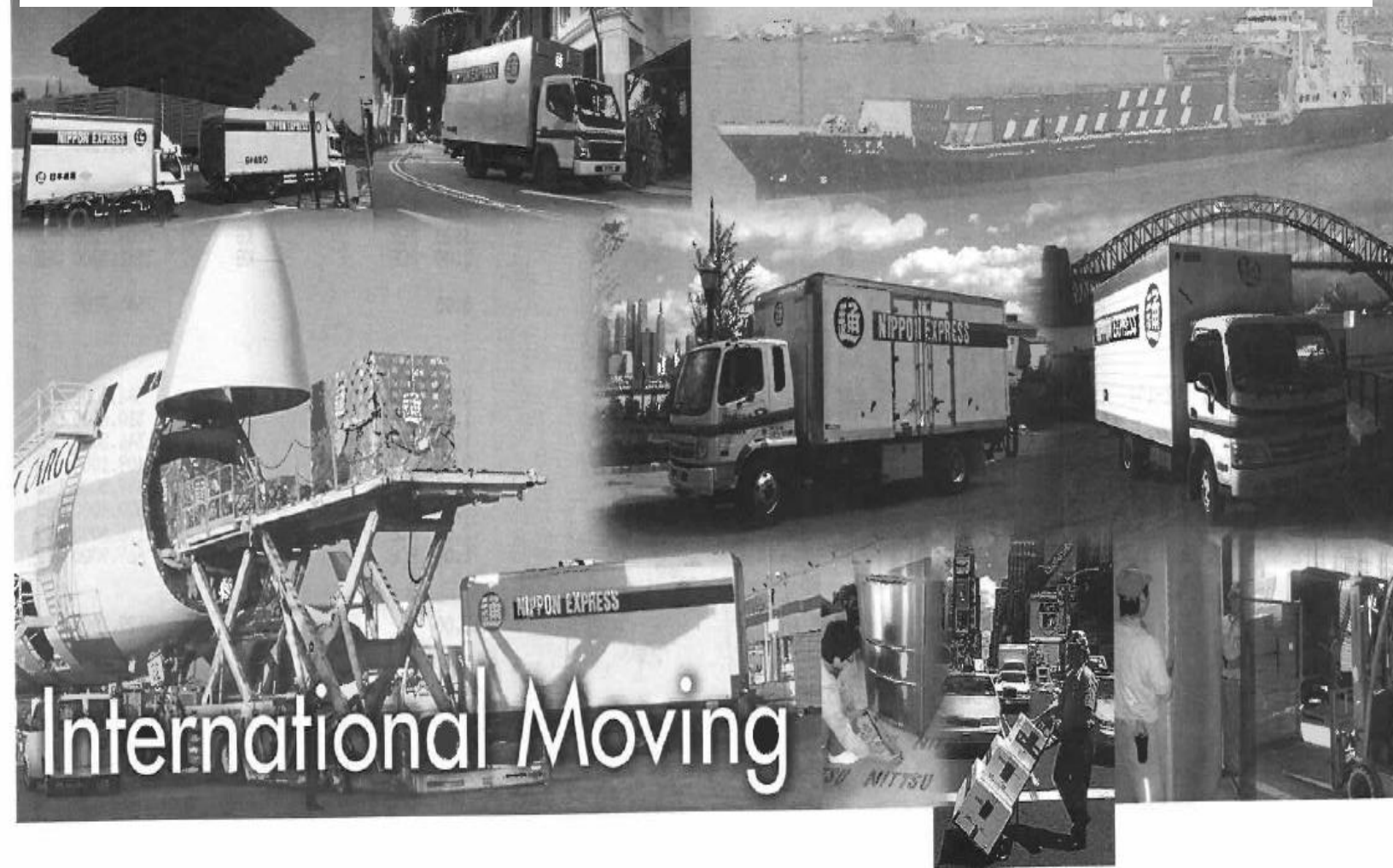
3 月半ばのコロナ禍による突然の休校措置以来、もうすぐ約半年になろうとする中、管理運営委員もすっかりオンラインで会合を行うことに慣れてきました。5 ヶ月ぶりなので報告することは山ほどありますが、まずは 5 月の特別総会で発表した今年の運営委員会の年間目標を再度列記しておきます。今年度も委員全員が投票した結果、管理運営委員会全体で取り組む最重要項目としては、

1. コロナ禍における学校運営方針の取りまとめ
2. コロナ禍への財務対応
3. 持続可能な学校経営に向けた教育人事施策の検討

と、ご覧の通り今年度のテーマは「コロナ禍対応」の一言に尽きます。具体的には春に軌道に乗ったオンライン授業の発展、生徒数が減少する中での財務調整、そして対面授業再開後の安全管理などについて保護者の意見を吸い上げつつ、管理運営委員・事務局・教職員で手分けをして計画・実行し、この未曾有の危機を乗り切っていく所存です。

加えて「今年の管理運営委員会はこんなことを中心に取り組んでいるんだな」と分かりやすいように部署別年間目標を本校ウェブサイト>保護者ページに記載してありますので、ぜひご参照ください。

帰国の際の引越しは、日通にお任せ下さい



海外からの帰国にピッタリな引越しプラン

スタンダードサービス: 梱包から大型家具の輸送までお客様のニーズにお応えします。

スモールパッケージサービス: お荷物の少ない方にお勧めのお得なパッケージサービスです。

お申し込み、お問い合わせは米国日本通運ワシントン支店まで

アマゾン・スマイルをご利用ください

[アマゾン・スマイル](#)をご利用いただくと、アマゾンでお買い物をするたびに、購入金額の0.5%が自動的にアマゾン社から当校へ寄付されます。保護者の皆様にはご負担がない形で寄付ができる仕組みです。オンラインショッピングの際にはぜひアマゾン・スマイルをご利用ください。リンクはこちら→<http://bit.ly/Amazon4WJLS>



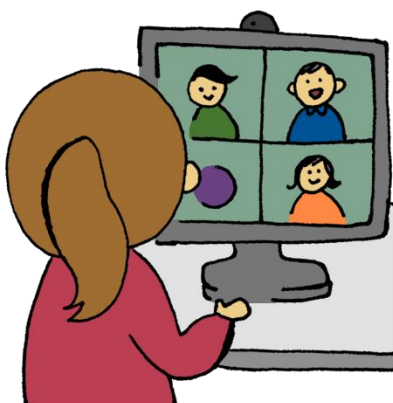
寄付にご協力ください！



ワシントン日本語学校では随時オンラインで寄付を募っております。

ご協力いただける方は、本校ウェブサイトの「寄付概要」ページ

(<http://www.wjls.org/giving-to-wjls/>)にある左の画像をクリックしてください。



委員長：	松井俊久
副委員長：	大江耕太郎
総務部：	渡辺政志（部長）・金杉沙織・ジャコブソン彩子・辻川扶紀・邊田寿俊
財務部：	野崎仁宏（部長）・大塚晴久
教育人事部：	ベイカー浩子（部長）・小野莉彩佳・加藤智之・金城由佳子・寺林武
広報部：	ミトリック理香（部長）・小寺友美
学年代表：	大根陽一郎（低学年代表）・森山妙子（中学年代表）・バンダイクゆり（高学年代表）
